

テロ対策特別措置法の改正案は、さらに自衛隊の活動を1年という期間を区切って延長することを可能とするものです

Q4 日本の活動はどのように役立っているのですか？

A 海上自衛隊は、海上阻止活動に参加している外国の艦艇などへ給油を行っています

補給艦が給油を行うことにより、艦艇は給油のために港に帰る回数が少なくなり、長期にわたる海上阻止活動が実現されます。活動に参加している日本の補給艦は参加国の補給艦の4分の1を占めており、国際社会を上げての取り組みにおいて大きな役割を果たしています。



協力支援活動
(給油など)

海上自衛隊 / 補給艦など艦艇のべ44隻

【期間】13年12月2日～現在継続中

【内容】艦船用燃料合計543回(約41万キロリットル)
艦船搭載ヘリコプター用燃料
合計24回(約370キロリットル)
真水合計31回(約1,600トン) 17年8月末現在

Q5 海上阻止活動では、具体的にどのような成果があがっているのですか？

A 立入検査などにより麻薬や武器を押収するとともに、多数の乗組員を拘束しています

海上阻止活動では、平成15年12月以降だけでも大量の武器・弾薬、大麻などを9トン以上押収し、多数の乗組員を拘束しています。このうち数十名はアルカイダとの関係も疑われています。

OEUFにおける成果の例

年月日	状況	成果
15年12月15日	OEUF-MIO参加艦艇がダウ船に対する乗船検査を実施。大麻を発見、押収し、乗組員を拘束。	乗組員12名拘束 大麻(末端価格1,000万ドル相当)
15年12月20日	OEUF-MIO参加哨戒機が発見した2隻のダウ船に対し、OEUF-MIO参加艦艇が乗船検査を実施。ヘロイン、覚醒剤を発見、押収し、乗組員を拘束。12月15日分と併せて拘留した33名のうち、10名はアル・カイダへの関与の疑いあり。	乗組員21名拘束 ヘロイン、覚醒剤
16年1月1日	OEUF-MIO参加哨戒機が発見したダウ船に対し、OEUF-MIO参加艦艇が乗船検査を実施。大麻を発見、押収し、乗組員を拘束(アルカイダその他のテロリストグループとの関係について疑いあり)	乗組員15名拘束 大麻(末端価格1,100万ドル相当)
16年5月7日	OEUF-MIO参加艦艇が立入検査をした船舶から多数の武器を発見・押収。乗員を拘束。	乗組員7名拘束 武器544丁、弾倉、弾薬など
16年9月	乗船検査を行った船舶は、人員の負傷や船舶の損傷が認められ、中からイラン、イエメン等の大量の通貨を発見。	
17年3月6日	OEUF-MIO参加艦艇がダウ船に対し乗船検査。燃料タンク内に隠されていた大麻を発見。	乗組員3名が大麻取引に関与 大麻約6,000ポンド
17年5月20日	OEUF-MIO参加艦艇がダウ船に対し乗船検査し、大麻を発見。	大麻約4,200ポンド

日本に対する各国の評価

多くの国の首脳や高官が謝意を述べています

『OEUF-MIO』参加国艦艇は、作戦海域に海自の補給艦がほぼ切れ目なく存在し続けていることにより、艦艇が頻りに補給地へ帰港する必要がなくなり、長期にわたる作戦継続が可能となっています。このことが海上阻止の成果となり、多くの国が日本に対する賛辞を表しています。

パキスタン
カスーリ外相

自衛隊艦艇が、インド洋において海上阻止活動に参加しているパキスタン艦艇に対し、給油・給水支援を行っていることに感謝する。

(平成17年2月)

アメリカ合衆国
ライス国務長官

日本のイラク復興支援、インド洋における自衛隊の活動も含むアフガニスタンへの復興支援に深く感謝したい。

(平成17年3月)

アフガニスタン
カルザイ大統領

日本が行ってきたこの3年間の努力に感謝しており、特にDDR(Disarmament, Demobilization, Reintegration: 軍閥の武装集団の構成員となっている兵士の武装解除、動員解除、社会復帰)のプロセスでの日本の支援、インド洋上での給油支援に大変感謝している。

(平成17年4月)